



ランチタイムコンサート

ストラヴィンスキー 組曲 “プルチネツラ”

「プルチネツラ」は、ロシア・バレエ団の主催者セルゲイ・ディアギレフから打診を受け、ストラヴィンスキーが1920年に完成させたバレエ曲で、彼の新古典主義の出発点となった作品。18世紀初頭に活躍したイタリアの作曲家、ペルコレージの主題を中心に作曲された。バレエ《プルチネツラ》はイタリアの民衆劇から採った物語で、女性の誰にももてる色男の主人公、プルチネツラが他の男性から嫉妬されて殺されそうになり、身代わりを使って危うく難を逃れ最後には村の娘ピンピネツラと結ばれるという筋書。今回は音楽コース教員、卒業生、芸術文化専攻大学院生、学部生を中心としたスペシャルオーケストラによるコンサートです。乞うご期待！

バイオリン：稲垣琢磨 村田一季 正司円 高橋麻衣 ビオラ：堤里美子 野村敏美 (客演)

チェロ：野村朋亨 (客演) 孫宝徽 (客演) コントラバス：北出菜穂子 山口桂一郎

フルート：中務晴之 服部彩恵 オーボエ：伊藤早紀 西林彩菜

ファゴット：吉戸理恵 永易怜菜 ホルン：長野夏弥 井宮有香

トランペット：神代修 トロンボーン：呉信一

平成28年10月5日 (水) 12時30分開演

音楽棟ホール

(13時終了予定)